東京ジャーミイ金曜日のホタバ

クルアーンは信者達の癒しである

2011年4月8日

親愛なるムスリムの皆様。クルアーンの最も根本的な特徴を一言で述べるなら、それが、教えへと導く書であると語っていたことでしょう。なぜなら、それが啓示された時代、憎悪や多神教という沼につかり、迫害、派閥抗争、敵対、卑しさといった肉体的・精神的な病に窒息しかけていた人々に正しい道を示し、彼らのため正邪を識別する道案内となったからです。

崇高な書物クルアーンは、道案内であるという特性を最後の審判の日まで継続させるのです。神の啓示が言葉に注ぎこまれたこのあり方は、それに従う人々の心にある各種の疑い、派閥抗争、多神教、否定、無知、逸脱といった病を取り除き、信仰、英知、善への道を示し、天国へと導き、罰から救われる要因となるのです。

親愛なる兄弟姉妹の皆様。クルアーンには慈悲があります。つまりクルアーンは要約するなら、教えとこの世界での生き方を正しく健全でよいものとするために必要な知識が含まれています。それを正しく読む人には、大きな報奨を獲得させます。信者たちのために困難さを容易さに変え、過ちを取り去り、罪を消し去ります。

クルアーンがもたらした教えは正しい教えであり、それが与えている知識は正しい知識であり、それが招いている道は正しい道です。徳や生き方においても正しさ、誠実さへと招き、このようにしてあらゆる面から誤ったものを取り除こうとしているのです。

「夜の旅」章では次のように述べられています。「われが（段階を追って）クルアーンで下したものは、信者にとっては癒しであり慈悲である。だが不義の徒にとっては只損失の種である。」(夜の旅章第８２節)クルアーンの言葉で、この世界はあたかも、様々な病、災い、苦痛に満たされた病院、預言者ムハンマドは医者、クルアーンも癒しをもたらす薬、そして十分な糧と比喩されています。クルアーンは人々を無知と逸脱という闇から救い出すための道案内です。真実、事実を見るよう招きます。道徳的・社会的病に対する絶対的な癒しの処方箋です。

また一方で、医学的な病においても、治療と並び、あるいは医学的な治療の可能性が失われた状態で、精神的な支えの影響と重要性は大きなものです。この観点から、肉体的・精神的病にかかっている際にクルアーンを読むこと、ドゥアーすることもまた、治療中に癒しをもたらすものとなるのです。

大切な兄弟姉妹の皆様。クルアーンはシャイターンの暗示、困惑、恐怖に対する癒しでもあります。信者の心をアッラーに結びつけ、落ち着かせ、やすらぎを与え、生きる希望をもたらします。

クルアーンは自我の欲求、穢れたもの、卑しいもの、嫉妬、そしてシャイターンのもたらす疑念に対する癒しです。社会の構成を破壊し、信頼ややすらぎをなくし、健康に害を与える社会的な病に対しても、癒しの要因です。

今日のフトバを、この件に関する別の章句で締めくくります。「人びとよ、あなたがたの主から確かに勧告が下された、これは胸の中にある（病い）を癒し、また信者に対する導きであり慈悲である。」（ユーヌス章第５７節）